



第4回 ASP・SaaS・ICTアウトソーシング アワード2010

特定非営利活動法人
ASP・SaaSインダストリ・コンソーシアム

アワードの趣旨



- 昨今、急激に拡大しているASP・SaaS・ICTアウトソーシング市場動向にあわせて、さらにこれらのビジネスモデルや技術が社会に貢献するものとするため、また各ベンダー・経営者・営業・企画・技術者の意欲向上を目的として、『**第4回ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2010**』を実施する。
- このアワードは、日本国内でもっとも優秀かつ社会に有益なASP・SaaS・ICTアウトソーシングを実現しているアプリケーション・コンテンツ提供・その他のオンデマンドサービスなどの、ネットワークを活用したICTサービス全般について表彰するものである。
- 審査は、エントリー事業者に直接関連のない有識者からなる委員会を設置して、公平な観点から選定し、表彰する。
- これによって、さらにASP・SaaS・ICTアウトソーシング関連業界の活性化、社会情報基盤の健全な育成、さらには日本経済の発展に寄与することを目的とする。



アワード受賞企業のメリット

賞の授与(表彰)により、営業活動で大きな効果が期待できます

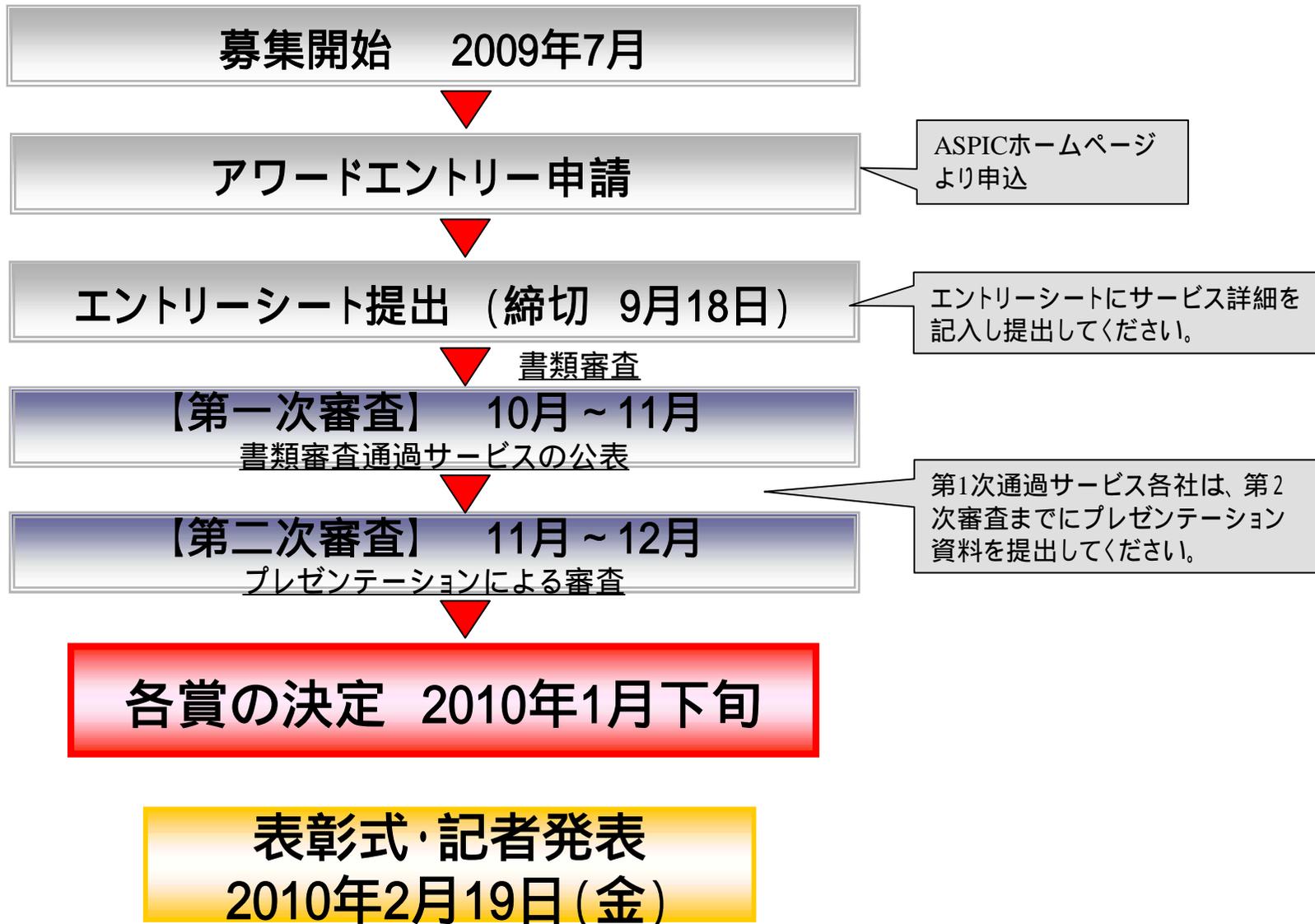
多くのマスコミでの報道により企業名、サービス名などが取り上げられます

第一次審査を通過した企業・サービスはASPICのホームページに紹介します
(第一次審査通過企業数はASP・SaaS部門、IDC部門それぞれ約30社の予定です)

最終審査結果はマスコミに発表すると同時にASPICホームページに掲載します

受賞企業は、賞状とトロフィーが授与され、各社オフィスなどで展示することにより、社員のモラル向上や顧客・取引先への御社の優秀さのアピールが可能となります

アワード実施計画



アワード 申込方法



- (1) エントリー申請 … 8月17日(月)締切
- (2) エントリーシート … 9月18日(金)締切

- (1) ASPICホームページよりエントリー申請
- (2) エントリーシートをご記入の上、メールにてお送り下さい。

エントリーシートが審査の対象となります。それぞれに項目に沿って詳細に記入してください。

エントリー部門について

1. ASP・SaaS部門のエントリーについては、以下の分野に分かれています。 分類表参照下さい。

(1) Application分野

- A. 社会・業界特化系
- B. 基幹業務系
- C. 支援業務系

(2) PaaS分野

- D. システム基盤
- E. ネットワーク基盤
- F. 開発・実行基盤

2. IDC部門のエントリーについて

日本国内に設置されているデータセンターを対象とします。

自社向けにサービスを提供しているデータセンターは対象としません。

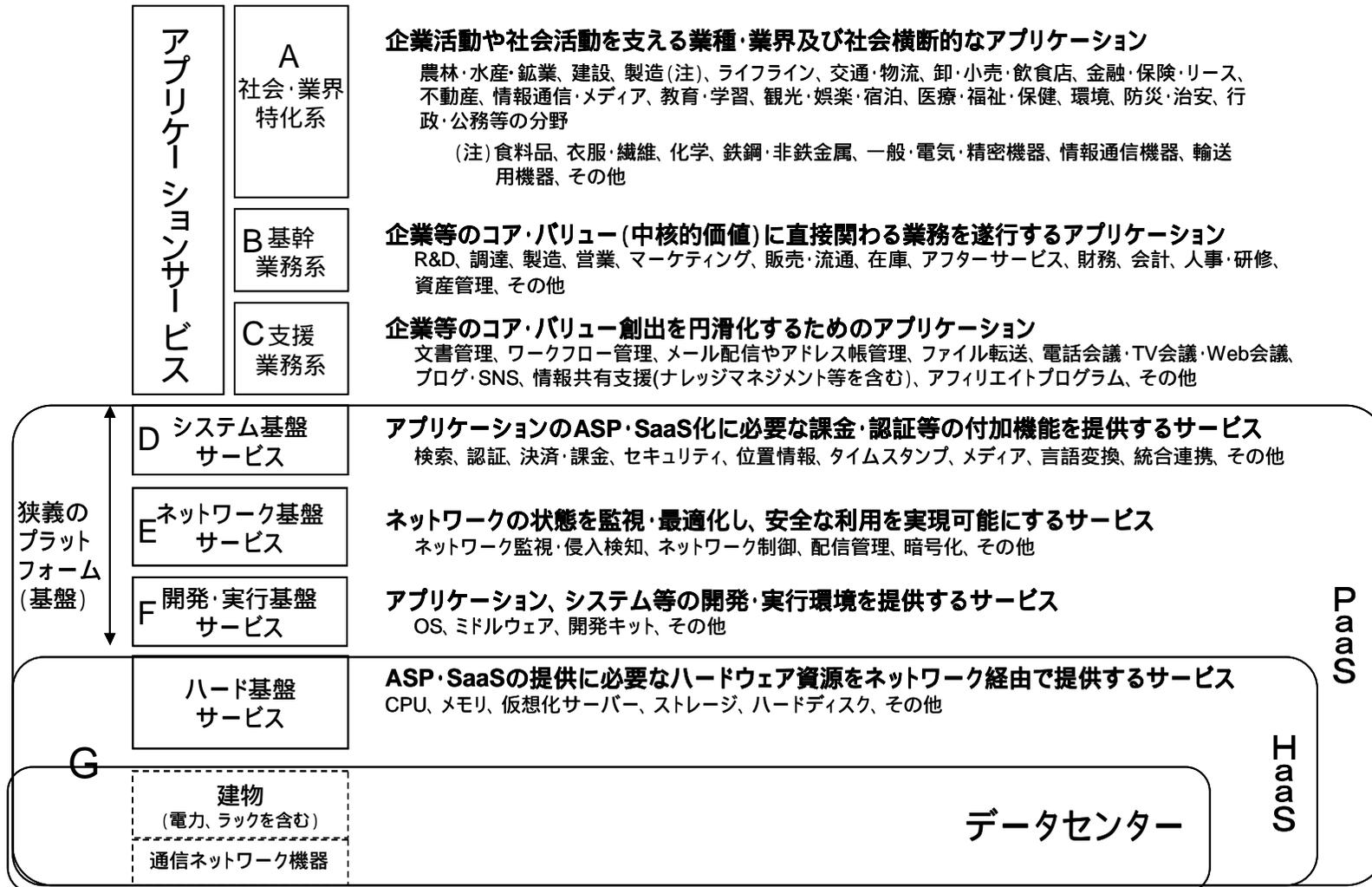
自社以外の複数の企業に対してネットワークを経由してサービスを提供しているデータセンターを対象とします。

3. ASP・SaaS部門、IDC部門、両部門共に複数サービスの応募が可能です。

過去のエントリー企業及び受賞された企業もご応募いただけます。

(参考資料)

ASP・SaaSサービス分類表



アワード各賞 ASP・SaaS部門(予定)



1. 総合グランプリ (1社)	全評価項目の最高得点
2. 分野別グランプリ (1) Application分野グランプリ (3社)	社会・業界特化系分野において最も優れたサービス
	基幹業務系分野において最も優れたサービス
	支援業務系分野において最も優れたサービス
(2) PaaS分野グランプリ (3社)	システム基盤分野において最も優れたサービス
	ネットワーク基盤分野において最も優れたサービス
	開発・実行基盤分野において最も優れたサービス
3. ベストベンダー賞 (1社)	ASP・SaaSベンダー企業として最も評価の高い企業
4. ベストイノベーション賞 (1社)	該当するサービスが最も社会の改革改善に貢献したと思われる企業とサービス
5. ベストブレイク賞 (1社)	ライセンス数の伸び率がもっとも高かったサービス
6. ベストベンチャー賞 (1社)	ベンチャーファンド関係者による推薦による賞
7. ベスト連携賞 (1社)	他社のサービスと最もうまく連携を図ったサービス
8. ベストビジネスモデル賞 (1社)	以下の観点からベストビジネスモデルと考えられる賞 イノベーションと生産性向上、新産業創造、グローバル経営、地域産業創造、地域教育改革、地域医療、福祉改革、地域観光開発、地域政府効率化
9. ベスト公共部門賞 (1社)	公共部門に対し最も貢献したサービス
10. ベスト環境貢献賞 (1社)	環境に対して最も貢献をしたサービス
11. 委員会特別賞 (1社)	委員会により推薦
12. 委員長特別賞 (1社)	委員長により推薦

アワード各賞 IDC部門(予定)



1. 総合グランプリ	(1社)	全評価項目の最高得点
2. 規模別グランプリ	(3社)	大規模分野グランプリ 総合グランプリを除く最大搭載で1000ラック以上のデータセンターで最も評価の高いデータセンター
		中小規模分野グランプリ 総合グランプリを除く最大搭載で1000ラック未満のデータセンターで最も評価の高いデータセンター
3. バリュークリエイション賞	(1社)	データセンター事業に新しい事業モデルや付加価値を生み出しているデータセンター
4. 地域貢献賞	(2社)	関東地区・大阪地区・名古屋地区以外のデータセンターについて、地域の社会情報基盤に最も貢献していると考えられるデータセンター
		関東地区・大阪地区・名古屋地区のデータセンターについて、地域の社会情報基盤に最も貢献していると考えられるデータセンター
5. グリーンIDC賞(環境貢献)	(1社)	最も環境対策に貢献しているデータセンター
6. ASP連携賞	(1社)	ASP事業者との連携がもっともうまく図れたデータセンター
7. セキュリティ賞	(1社)	最もセキュリティ対策に優れているデータセンター



表彰式 記者発表

2010年2月19日(金)
表彰式・記者発表
記念パーティ
13:30 ~ 19:30
ゆうぽうと(五反田)

参考：第2回、第3回 アワードの応募状況



第2回(2007/2008)

応募総数：122社(1社1サービス)

- ・ASP・SaaS部門：96社
(会員38社、非会員58社)
- ・IDC部門：26社
(会員16社、非会員10社)

第一次審査通過数：34社

(ASP・SaaS部門)
(会員26社、非会員8社)

最終審査：

- ・ASP・SaaS部門 18社
(会員12社、非会員6社)
- ・IDC部門 10社
(会員6社、非会員4社)

第3回(2009)

応募総数：137社(1社複数サービス可)

- ・ASP・SaaS部門：120社
(会員44社、非会員76社)
- ・IDC部門：17社
(会員8社、非会員9社)

第一次審査通過数：34社

(ASP・SaaS部門)
(会員24社、非会員10社)

最終審査：

- ・ASP・SaaS部門 23社
(会員18社、非会員5社)
- ・IDC部門：10社
(会員6社、非会員4社)

ASPアワードグランプリ



第1回 ・グランプリ
・セールスフォース・ドットコム株式会社 「sales force」

第2回 ・ASP・SaaS部門 グランプリ
プロパティデータバンク株式会社 「@プロパティ」
・IDC部門 グランプリ
富士通株式会社 「館林データセンター」

第3回 ・ASP・SaaS部門 グランプリ
コクヨS&T 「@とばす」
・IDC部門グランプリ
NTTスマートコネク ト 「NTTスマートコネク トデータセンター」

過去の受賞企業一覧の詳細はASPICホームページに掲載しております

第2回 表彰式記念撮影



第2回表彰式 記念撮影 2008年1月25日

ASP・SaaS部門



中央
佐藤総務副大臣
中島委員長・河合会長 中田政策統括官、秋本課長

IDC部門



中央
佐藤総務副大臣
中島委員長・河合会長 中田政策統括官、秋本課長

第3回 表彰式記念撮影

第3回表彰式 記念撮影 2009年2月19日

ASP・SaaS部門



中央
石崎総務副大臣
中島委員長・河合会長 戸塚政策統括官、秋本課長

IDC部門



中央
石崎総務副大臣
中島委員長・河合会長 戸塚政策統括官、安藤課長

ASPICの沿革



- 1999年 11月 任意団体ASPインダストリ・コンソーシアム・ジャパン設立(創立メンバー85社)
- 2000年 10月 欧米のASP関係者を集め、東京において世界ASP会議(ASPIC Global Meeting)開催
- 2001年 8月 日本、韓国、シンガポールでアジア国際組織ASP/IDC Allianceを結成
- 2002年 2月 特定非営利活動法人(NPO)の認証取得
- 2002年 4月 行政機関からの受託事業を開始。以降、全国電子自治体(千葉県、宮崎県、大阪府、昭島市、小金井市、多摩市、延岡市、那覇市、沖縄市、名護市、柏崎市)中小企業、地域コミュニティに受託事業の活動範囲を拡大
- 2003年 3月 「公共ITにおけるアウトソーシングに関するガイドライン」(総務省から受託)作成 自治体職員に説明会実施
- 2003年 4月 ASP白書(ASP白書2003)を作成
- 2004年 5月 日本、韓国、シンガポールによるASP/IDC Alliance会合を東京で開催
- 2005年 9月 「ASP白書2005」を作成・出版
- 2006年 5月 「ASP・IDC活用による電子自治体アウトソーシング実践の手引き」の作成・出版
- 2006年 7月 「ASP総覧2006/2007」の作成・出版
- 2006年11月 日韓共同ASPワークショップをソウルにて開催
- 2007年 2月 国内初の「ASP・ITアウトソーシングアワード2006」を開催
- 2007年 4月 総務省と合同で「ASP・SaaS普及促進協議会」を設置
- 2007年 4月 「ASP・SaaSの普及促進策に関する調査研究」報告書作成
- 2007年 6月 韓国政府・韓国ITレンタル産業協会(KITRIA)と総務省・ASPICとの東京会合
- 2007年 6月 ASP・SaaS普及促進協議会(第1回協議会 6月15日開催)
- 2007年 6月 ASP・SaaSの情報セキュリティ対策に関する研究会(第1回研究会 6月21日開催)
- 2007年11月 総務省から「ASP・SaaSの安全・信頼性に係る情報開示指針」を公表
- 2008年 1月 「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2007/2008」を開催
- 2008年 4月 「ASP・SaaS安全・信頼性情報開示認定制度」運用事務の受託
- 2008年 4月 「ASP・SaaS構築ガイド」を作成、各地で「ASP・SaaS構築ガイドセミナー」開催
- 2008年 5月 「ASP・SaaSイノベーション・シンポジウム(ASIS)2008」を開催
- 2008年 5月 第三回日韓ASPミーティング開催(東京)
- 2008年 6月 平成20年「電波の日・情報推進月間」にて「総務大臣賞表彰
- 2009年 2月 ASP・SaaSデータセンター 促進協議会を設立
- 2009年 2月 第3回「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード2009」を開催
- 2009年 7月 「ASP・SaaSイノベーション・シンポジウム(ASIS)2009」を開催

総務大臣表彰



ASPICは平成20年度「電波の日・情報通信月間」総務大臣表彰を受けました



特定非営利活動法人 ASP・SaaSインダストリー・コンソーシアム(会長 河合輝欣)は、中小企業の生産性向上、地方自治体の行政事務の効率化に寄与するツールの一つである「ASP(Application Service Provider)・SaaS(Software as a Service)」の利活用に取り組み、安全信頼性に係る情報開示指針の策定に重要な役割を果たす等、ASP・SaaSの普及促進を推進するなど、情報通信の発展に多大な貢献をした。
(総務省 平成20年6月1日報道発表資料より)